

科目名		授業形態	担当教員名	
日常生活活動学Ⅱ		講義・演習	堂脇 ゆかり・谷 和真	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
リハビリテーション医学の中で日常生活活動（ADL）は大きな領域をしめる。リハビリテーションチームの一員である理学療法士として、活動の視点から障害を捉えていく。後期では、ADL各論として各疾患別のADLの特徴、指導について学習する。				
授業の到達目標				
1. 片麻痺患者のADLの特徴について説明できる。 2. 片麻痺患者の基本動作などの指導・介助法を実施できる。 3. RA患者のADLの特徴について説明できる。 4. RA患者の基本動作などの指導・介助法を実施できる。 5. 脊髄損傷のADLの特徴について説明できる。 6. 脊髄損傷の基本動作などの指導・介助法を実施できる。 7. その他の疾患のADLの特徴について説明できる。 8. その他の疾患の基本動作などの指導・介助法を実施できる。				
授業計画				
回	内容			
1	ADL評価 セルフケアについて			
2	セルフケア 基本動作について			
3	基本動作、脊髄損傷のADL①特徴			
4	脊髄損傷のADL② 特徴と指導			
5	脊髄損傷のADL③ 演習			
6	RAのADL 特徴と指導			
7	視覚障害者のADL 特徴と演習			
8	人工股関節置換術・下肢切断のADL 特徴と指導			
9	呼吸器・循環器疾患、神経筋疾患のADL 特徴と指導			
10	片麻痺のADL① 特徴と指導			
11	片麻痺のADL② 演習			
12	片麻痺のADL③ 演習			
13	片麻痺のADL④ 演習			
14	実技テスト			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%			
レポート・課題	10%	課題の提出		
小テスト				
平常点				
その他	20%	実技テスト		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学専門分野 日常生活活動・生活環境学		鶴見隆正・隆島研吾 編集	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				